

SATテクノロジー・ショーケース2024開催結果報告書

R6.3.4 つくばサイエンス・アカデミー

- 1 開催日 令和6年1月25日(木) 9:30~20:00 (対面)
- 2 会場 つくば国際会議場
- 3 参加者数 284名
- 4 開催形態 対面開催
ホームページ(HP)にアブストラクトを掲載
ポスターは当日の会場に掲示したほか、1/25~2/29までHPに掲載
インデクシング、特別シンポジウム等については、YouTubeでライブ配信し、その後2/29までアーカイブ配信

5 内容等

- (1)ポスター発表 96件(一般92件、つくば発注目研究4件)
- (2)企画展示 2件(つくば市、茨城県)
- (3)共催機関広報展示 14機関
- (4)先進技術企業展 7社
- (5)発明無料相談コーナー (日本弁理士会関東会)
- (6)特別シンポジウム(企画:国立環境研究所)

メインテーマ「カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーが導く未来社会」

■特別講演 座長 森口祐一 国立環境研究所 理事

①地域で取り組むカーボンニュートラル

講師 磐田朋子 芝浦工業大学 副学長

②カーボンニュートラルと資源循環へのチャレンジ

講師 山戸昌子 トヨタ自動車株式会社 CN 先行開発センター
環境エンジニアリング部 部長

③カーボンニュートラルに挑む革新的技術

講師 工藤祐揮 産業技術総合研究所 ゼロエミッション
国際共同研究センター副研究センター長

④サーキュラーエコノミーの社会実装と評価

講師 村上進亮 東京大学大学院 工学系研究科 技術経営戦略学専攻 教授

■パネル討論

テーマ「カーボンニュートラル及びサーキュラーエコノミー技術の社会実装の課題と主体間連携の役割」

モデレーター: 森口祐一 国立環境研究所 理事

パネラー: 南齋規介 国立環境研究所 資源循環領域 室長

磐田朋子、山戸昌子、工藤祐揮、村上進亮(特別講演の講演者4名)

(7) オンライン配信

① ホームページに掲載したポスター等の閲覧数(企画・広報展示含む)

1/25(当日) 242回(ショーケース特設ページへのアクセス数851回(ポスターの閲覧数含む))

1/26~2/29 2,252回(同上 3,734回)

② YouTube ライブ配信の同時最大視聴数 10名

1/25~2/29(視聴回数(ライブ配信含む) 516回)

(8) プレゼンテーション賞の表彰

参加者の投票により、発表内容が優れていると認められた発表者を表彰し、賞状が授与された。(別紙)

(9) 懇親会

新型コロナが5類になり4年ぶりに開催し交流が図られた。参加者 75名

5 結果

- ・一般ポスター発表数は昨年より12件少ない92件。分野別に見ると、物質材料(23件)、農林水産(10件)、環境(9件)、生命科学(8件)、ナノテクノロジー(5件)、機械・エンジニアリング(5件)など15分野であった。
- ・参加者からのアンケートでは、感想として、「勉強している分野の面白い情報が知れて非常にためになった。」、「大学生や研究者の方が、高校生の私にも話しかけてくれたので、とても話しやすく面白かった。」「特別シンポジウムは国立環境研究所らしい幅広いテーマで、幅広い視点で興味深く拝聴できた。」など、また、来場の効果としては、「必要な情報、人脈を得た」、「ビジネスを進める具体的な話をし、ヒントをつかんだ」などの回答をもらった。
- ・また、「普段関わることのない専門家の方と議論でき有意義な時間を過ごせ楽しかった。」、「様々なバックグラウンドを持つ方とディスカッションできた。」、「普段の学会と比べ、様々な分野の方の発表が聞け楽しかった。」など、総合的に異分野交流による知の触発、研究活動の活性化を図ることができた。